

生涯学習推進員の活動状況

城山町1丁目推進員 渡部 孝男
 城山町2丁目推進員 唐橋 正夫
 見晴台推進員 櫻井 映一

生涯学習推進員が、企画・実施する主要活動としては、「歴史探訪」、「作品展」、「演奏会」、「雑学おはなしの会」があります。この内、「作品展」と「演奏会」は、隔年で交互に実施しています。

「雑学おはなしの会」は、2012年から毎年実施している人気事業です。城山地区には講師に相応しい多才な住人が多く、毎回40人以上の聴衆の参加があります。「動物の話」や「旅の話」、「病気・介護の話」など、講師の体験・趣味・職業を語る講演は、会場に共感と感動が生まれ、これが次の参加の動機付けとなっています。

次に近年の生涯学習推進員の活動状況を記述します。

2016年、作品展を高崎市もてなし広場近隣のNTT東日本のユーホールで実施し、城山校区の高い芸術性を高崎市民に披露しました。

2017年、「歴史探訪」を「歴史探訪ウォーキング」と改名し、初めて体育振興会と共催し、高崎市内の有名なお寺と地場産業のお店を参加者31名で訪問しました。この共催事業で体育振興会との交流が深まり、生涯学習推進活動の枠が広がりました。

2018年の「歴史探訪ウォーキング」は、観音山古墳や県立歴史博物館及び近隣史跡を巡りました。観音山古墳出土品の素晴らしさに感動し、ご説明頂いた学芸員の方に「この展示品は国宝級の素晴らしいものですね!」と言ったことを覚えています(その後、出土品全部が国宝に)。同年の作品展は、前回開催の「ユーホールは駐車が面倒で会

場へ行き難い。」という声により、城山公民館開催としました。また、公民館利用団体による「茶臼山城址の講演」や「活動発表」、「朗読」なども実施し、さらに婦人会有志のご協力の下、喫茶「城山カフェ」を開店し地域交流・コミュニケーションの促進を図ることができ、来場者増加に繋がりました。

2019年、「からす川音楽集団」の吹奏楽演奏会ではリクエスト曲の「城山音頭」演奏直前に、当時の伊藤公民館長のご尽力で「城山音頭」作曲者の佐藤さんが突然現れるというサプライズを演出し、「からす川音楽集団」演奏者も驚かせて、大変盛り上がりました。また、小学生・中学生の観客も20名~30名あり、その保護者の若い世代の方も多く、シルバー世代と若い世代の交流に役立ちました。

2020年の「歴史探訪ウォーキング」は、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を中止しましたが、「発表会」、「作品展」、「雑学おはなしの会」は、換気・手指の消毒・マスク着用・検温などの感染防止対策を実施して行いました。

2021年は「情熱のオペラ」及び「群響 心に響く音楽会」という通常では開催困難なハイレベルの音楽会が荒井公民館長の多大なご尽力で開催でき、会場全体で感動を共有できました。この年は「雑学おはなしの会」を含めた全企画開催事業で、新型コロナウイルス感染防止のため、前年同様の対策に加え、室内の空気の汚れを検出すると換気警報を出す二酸化炭素測定器による換気対策も実施しました。

2022年は、3年ぶりに体育振興会との共催で「歴史探訪ウォーキング(高崎城址歴史巡り)」を実施し、無事に終了できました。今年度も生涯学習推進員は城山地区地域づくり活動協議会文化部の中核メンバーとして、「文化祭・発表会」、「文化祭・作品展」そして「雑学おはなしの会」を城山公民館と共催して実施します。

皆さまのご参加をお待ちしています。

